



常世の国 筑波嶺翔ける 文化のいぶき

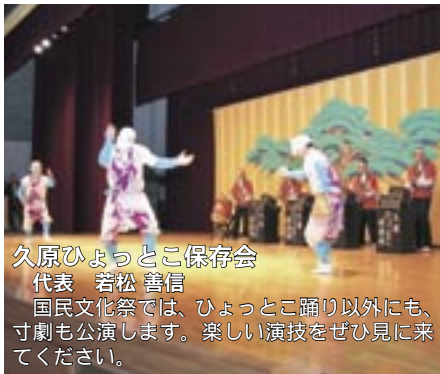
# 常世の国こくぶん祭

## ※第23回国民文化祭・いばらき2008

平成20年11月1日(土)～9日(日)

### 「筑波嶺の息づく伝統文化」プログラム

11月2日・8日の晴れ舞台に向けてただいま稽古中。勇壮な太鼓の響きや、子どもたちの元気いっぱいの演奏をご期待ください。(順不同・敬称略)



#### 久原ひょっとこ保存会

代表 若松 善信  
国民文化祭では、ひょっとこ踊り以外にも、寸劇も公演します。楽しい演技をぜひ見に来てください。



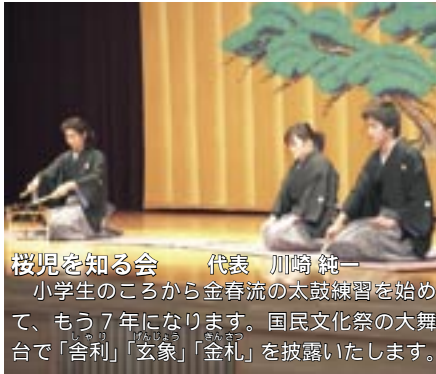
#### 加波山囃子保存会

代表 笠倉 義貞  
地区の人たちの熱心な支援のもと、幼稚園児から小学生まで29人の子どもたちが元気いっぱい演奏します。乞う、ご期待。



#### 宮大杉囃子保存会

代表 太田 徹  
国民文化祭では「大和太鼓」を披露するため、稽古に励んでいます。迫力ある太鼓にご注目ください。



#### 桜児を知る会

代表 川崎 純一  
小学生のころから金春流の太鼓練習を始め、もう7年になります。国民文化祭の大舞台上で「舍利」「玄象」「金札」を披露いたします。

### 「ストーン文化フェスティバル」プログラム

## 雨引の里と彫刻2008

9月28日～11月30日開催・大和地区に42作品

「雨引の里と彫刻」展は、今年で12年目7回目の開催となります。今回は、11月に茨城県で開催される第23回国民文化祭のプログラムの一環として9月28日より11月30日までの約2か月間開かれます。

「雨引の里と彫刻」展の特徴は桜川市旧大和村地域の田園、集落、刈り入れ後の田んぼなどを主に野外の生活空間に作品を展示し、この地域を期間限定で美術館化し、地元の方々をはじめ、来訪者たちに風景の中に展示されたさまざまな材質による現代美術、彫刻、そして今も多く残されている自然環境を、またそのコンビネーションを満喫していただければと考え企画してきました。

一つの特徴は、企画者が居る展覧会の概要を決めるのではなく、参加作家全員が企画者、実行委員となります。自分たちが考えているような美術を通じての活動を社会に対して発信していくことと考えるの行動(制作、発表としての展覧会)です。

今回の参加者は42人(うち3人の新規参加者)。

桜川市の本木、大曾根、東飯田、阿部田地区を歩きまわり、自分の作品を展示したい場所を探し出し、所有者や管理者の方々の許可を得て展示場所が決定しました。

現在は、各自が選んだ場所を想定しながら作品制作に励んでいるところです。

雨引の里と彫刻2008

実行委員会 菅原 二郎



前回は「雨引の里と彫刻2006」と題して、羽田・青木・高森地区の豊かな山里に44作品が展示され多くの人で賑わいました。

あなたの描く想像を現実により綺麗に より美しくあなたと感動を繋ぐ存在でありたい。



株式会社 デジタル印刷

TEL.0296-54-2626(代) FAX.0296-54-2724

## 総合葬祭 こもり

さくらほーる  
ベルホール  
いわせホール

年中無休・24時間対応  
☎0120-44-4483

桜川市東桜川3-13  
(旧岩瀬町)

葬儀について、何でもご相談下さい。(秘密厳守)